

33	バード・ウォッチング
ビジョン	大学周辺の池や林に出掛け、野鳥や動植物など生物の観察や林の中の空気を感じ、自然の持つ力を実感したい。
ゴール	<ul style="list-style-type: none"> ・バードウォッチング・マップの作製 ・野鳥や動植物の写真を撮影する技術を得る。 ・学園周辺の環境を知る ・ア셈ブリ発表会での発表
理由	医療を提供する人は多くの事象を知っているべきである。医療人には人に対する観察眼と優しさが必要であり、そのためには“自然”を知り命の大切さを認識する観察力が必要になる。
知の成果物	バードウォッチング・マップ作成、観察した野鳥、動植物の写真
身につく力(目的)	<p>自然を大切にすること</p> <p>集中力・観察力・短時間で観察したものを描写する力・協調性</p> <p>野鳥のほか動植物の名前が分かり、説明できる。</p>
学習の内容	<p>野鳥観察方法、野鳥の種類等のビデオ学習</p> <p>双眼鏡やスコープの取り扱い方</p> <p>野鳥や動植物の写真撮影</p> <p>学園内や周囲の散策による生態マップの作成</p>
活動の特徴	山門付近神社・濁池・水広下池・二村山・勅使ヶ池等大学周辺の自然観察
班主任名	伊藤康宏 医療科学部 臨床工学科
<初回>活動場所	生涯教育研修センター1号館8F 809号室
<通常>活動場所	大学周辺
<雨天時>活動場所	生涯教育研修センター1号館8F 809号室